

西東京市 女性の創業支援

ノウハウ学ぶ施設好評

子育て世代も利用しやすく

西東京市で、3月末にオープンした2か所の創業サポート施設が好評だ。料理教室や作品作りなどができる部屋のほか、子供向けの遊具を備えるなど、子育て世代も利用しやすいのが特長。市は「創業を希望する女性たちに、実践的なノウハウを学んでほしい」としている。



キッチンで開かれた料理教室で塩こうじの使い方を学ぶ参加者ら(26日午後、西東京市で)

■駅チカ料理教室

「RIPPLE NIS HITOKYO(リップルニシトウキョウ)」「南町」は、西武新宿線田無駅南口から徒歩2分の住宅や店舗が立ち並ぶ一角にある。

以前は診療所(約100平方メートル)だった室内には、オレンジや黄色などカラフルなタイルのキッチンのほか、畳の敷かれた和室もあり、利用者同士が交流しやすくなっている。使用料を支払えば、業務用ミシン5台や商品写真が撮影できる工房を利用したり、エステやマッサージなどのサロンも営業したりできる。子供向けの滑り台なども備える。

今月26日には、キッチン

で塩こうじを使った料理教室が開かれていた。東村山市などで教室を開く講師の西沢由美子さん(53)は、「駅のすぐ近くに、子供連れでも利用しやすい場所があるのありがたい。西東京市でも教室の開催を検討したい」と笑顔で話した。

施設は、市から補助金を受けている民間業者「リトマス」(国立市)が運営。創業支援やコンサルティングの経験を持つ東希視子代表は、「個別相談や集客サポートなど、きめ細かい支援を提供している。一人で

の起業は不安という人も、この場所なら同じ目的を持つ人たちに出会える。興味がある人には一度相談にきてほしい」と話す。

■3割「起業に興味」

一方、同市ひばりが丘の団地内に開設された「HIBARIDO(ヒバリド)」は、飲食店や菓子製造の営業ができるキッチンや、小物販売などができる一坪スペースがあるのが特徴で、現在、利用者を募集中。5月1日から利用でき、施設の外は芝生もあり、家族連れなどでも過ごしやすい場所にある。

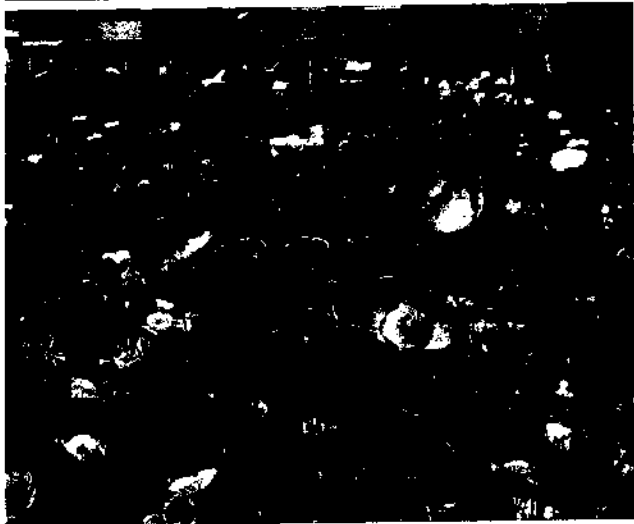
市の意識調査では、子育て女性の3割以上が「起

業に興味がある」と回答。

「未子が小学生になる頃には就業したい」と回答した女性は約9割にも上った。

ただ、起業セミナーの参加者からは、自宅で開業する場合、「住所が不特定多数の人に知られることが心配」と設備の初期費用が高すぎる」といった不安の声が上がっていたという。

行政が支援する創業サポート施設は武蔵野市や小金井市などにも設置されており、起業する女性も多数出ている。西東京市産業振興課は「施設を利用してもらう、魅力ある産業を生み出していきたい」としている。問い合わせは同課(042・4388・4041)。



三鷹にポピー

三鷹市牟礼の「花と緑の広場」で、色とりどりのポピーが見頃を迎えている。

ポピーが植えられているのは、約270平方メートルと約150平方メートルの花畑。市民ボランティアや特定非営利活動法人「花と緑のまち三鷹創造協会」の職員らが手入れをしており、春風の中、赤や白などのポピーが咲き誇っている。見頃は5月上旬頃まで。

ポピー(27日午後)

世の中にあふれ、アクセスするようになった。どう